

## 塩野直道賞

小学校低学年の部

いっぽんのひもでできる いちばんおおきなおへや

兵庫県 仁川学院小学校 1年 前田 宇佐子

### 講 評

ぬいぐるみのお部屋を作る遊びから始まり、1本のひもを使って一番大きな部屋を作るという想定で、最大面積の形はどんなものかという疑問を解決する実験を行いました。最初はビーズを使って中を埋めていきますが、一つ一つのビーズの大きさが違うのでうまく調べられないことに気づきました。次に、ほぼ同じ大きさの小豆を使って、どうやら「円の形」が最も大きくなりそうだと結論づけました。日常生活で使われているものを使った1年生らしい研究で、写真などを使って上手にまとめられ、素晴らしいものでした。

中央審査委員会